



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月15日

上場会社名 Bitcoin Japan 株式会社
コード番号 8105 URL <https://www.hotta-marusho.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) フィリップ・ロード
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 矢部 和秀 TEL 03-6824-9481
定時株主総会開催予定日 2026年6月29日 有価証券報告書提出予定日 2026年6月29日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,959	4.5	462		482		537	
2025年3月期	3,098	16.1	355		300		407	

(注) 包括利益 2026年3月期 530百万円 (%) 2025年3月期 387百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2026年3月期	9.26		16.1	12.1	15.6
2025年3月期	7.24		14.2	8.4	11.5

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 百万円 2025年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2026年3月期	4,638	4,001	86.2	62.05
2025年3月期	3,330	2,675	80.3	47.57

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,999百万円 2025年3月期 2,675百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	414	1,092	1,856	3,015
2025年3月期	330	379	0	474

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2026年3月期		0.00		0.00	0.00			
2027年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

2027年3月期の配当予想は未定であります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

2027年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。
今後、連結業績予想の算定が可能となり次第、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)
 期末自己株式数
 期中平均株式数

2026年3月期	67,850,648 株	2025年3月期	59,640,348 株
2026年3月期	3,396,257 株	2025年3月期	3,396,007 株
2026年3月期	58,041,596 株	2025年3月期	56,244,405 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,604	4.1	454		480		535	
2025年3月期	2,715	12.8	321		267		359	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	9.22	
2025年3月期	6.39	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	4,434	3,834	86.4	59.47
2025年3月期	3,111	2,510	80.7	44.64

(参考) 自己資本 2026年3月期 3,832百万円 2025年3月期 2,510百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、為替相場の変動による輸入物価の上昇圧力に加え、米国の金融引き締め政策の長期化や欧州経済の停滞、中国経済の成長鈍化などにより、世界経済全体としては減速感が見られました。

このような状況の中、当社グループは前期に構造改革を実施し、不採算事業から撤退するとともに、中長期的な価値創造を見据えた事業に経営資源を集中し、成長基盤の構築を進めてまいりました。構造改革によるコスト削減の効果はあったものの、きもの事業において新規店舗及び売場の1社体制の強化により増収となりましたが、その他のセグメントでは減収となりました。円安等による仕入コストの上昇や物流コストの上昇なども影響しましたが、ファッション事業及びマテリアル事業は営業利益が改善いたしました。しかしながら、臨時株主総会の費用及び新規事業に関わる費用等を計上した結果、全社において減収減益となりました。

経常利益においては、2025年8月4日に公表いたしました「親会社、その他の関係会社、主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動」に記載のとおり、親会社であったRIZAPグループ(株)が、Bakkt Opco Holdings, LLCへ株式を譲渡したことに伴い、新規事業への資金調達に関わる弁護士費用等及び新株予約権発行費を計上いたしました。加えて、中間期に当社が保有する一部固定資産について、収益性の低下が見られたため、減損損失として特別損失に42百万円を計上いたしました。

この結果、売上高29億59百万円(前年同期比4.5%減)、営業損失は4億62百万円(前年同期は営業損失3億55百万円)、経常損失は4億82百万円(前年同期は経常損失3億円)、また、減損損失を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失5億37百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失4億7百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(きもの事業)

専門店事業は、新規催事企画の推進、新商品の販売等新たな取り組みが成果を得ましたが、前期の大型倒産による影響と大手きものチェーン店が大きく落ち込み減収減益、百貨店事業は、百貨店単独売場化を推進し、前年を上回る結果となりましたが、単独売場化に伴う販売コストが重みとなり増収減益となりました。

この結果、売上高は6億42百万円(前年同期比2.2%増)、営業損失は1億19百万円(前年同期は営業損失96百万円)となりました。

(ライフスタイル事業)

ヘルスケア部門において、大口取引先からの受注が軟調に推移し減収減益となりました。

この結果、売上高は36百万円(前年同期比17.1%減)、営業損失は9百万円(前年同期は営業損失7百万円)となりました。

(ファッション事業)

新規事業として昨年から取り組んでいるショップチャンネル部門が放映回数の増加により大幅に増収増益、ジュニア部門は、円安による原価高が影響しましたが、収益性を鑑みた取引先の選択と集中により増収増益、ホームファッション部門は、円安進行による原価高をコスト削減で吸収し減収増益、ミセス部門の卸事業は、PB品の受注が好調に推移しましたが、催事販売は開催数の減少が影響し減収減益、SHOP事業は、前期での出店により前年並みとなりましたが、販売コストが重みとなり減益、ファッション事業全体で減収ながら営業利益は改善いたしました。

この結果、売上高は14億41百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は2百万円(前年同期は営業損失30百万円)となりました。

(マテリアル事業)

国内事業は、国内アパレルメーカーからの受注減により減収、上海事業は、中国内需の取引は引き続き厳しい状況にありましたが、国内事業との連携により日本への販売が好調に推移し増益となりました。国内事業及び上海事業ともにコストの大幅削減を行ったことにより営業損失は縮小いたしました。

この結果、売上高は8億27百万円(前年同期比10.9%減)、営業損失は23百万円(前年同期は営業損失53百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は44億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億38百万円増加いたしました。これは主に、短期貸付金が11億10百万円減少しましたが、現金及び預金が25億40百万円増加したことによるものであります。固定資産は1億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が35百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は46億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億7百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は6億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が30百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が77百万円減少したことによるものであります。固定負債は28百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は6億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は40億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億25百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失5億37百万円の計上と新株予約権の行使に伴う株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ9億27百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は86.2%（前連結会計年度末は80.3%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ25億40百万円増加し、30億15百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は、4億14百万円（前年同期は3億30百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の減少89百万円及び減損損失42百万円があったものの、税金等調整前当期純損失5億30百万円、仕入債務の減少69百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、増加した資金は、10億92百万円（前年同期は3億79百万円の増加）となりました。これは主に、貸付金の回収による収入18億60百万円、貸付による支出7億50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は、18億56百万円（前年同期は0百万円の減少）となりました。これは主に、新株予約権の行使に伴う株式発行の収入18億52百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の持ち直しが期待される一方で、米国における通商政策の動向、原材料価格の高騰、国内外の物価上昇の継続等により、依然として先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。これらの要因は、個人消費および企業活動の下振れリスクとして引き続き注視が必要な状況にあります。当社グループの主力事業である卸売事業は、お取引先である百貨店、量販店、専門店における売上および来店客数の動向に一定程度依存しており、消費マインドの変動や各取引先における集客動向の不確実性は、引き続き当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような環境のもと、当社グループは、既存事業における収益力の強化に加え、中長期的な成長に向けた新規事業への投資を推進しております。具体的には、新株予約権の発行を行い、資金調達により確保した資金を活用し、AI分野におけるインフラ投資の強化ならびにビットコイン関連事業への投資を加速させ、収益機会の多様化および事業ポートフォリオの拡充を図ってまいります。加えて、各卸売事業における営業施策を着実に実行し、国内外の取引先数の拡大および収益率の向上を推進してまいります。

なお、新規事業に関しては成長ポテンシャルを有する一方で、市場環境や事業進捗の不確実性が高く、当期においては新規事業（AIインフラ投資およびビットコイン関連事業）の影響が大きく、以下の要因により業績への影響

額を合理的に算定することが困難な状況にあります。

- ・市場価格（暗号資産価格・電力コスト等）の変動幅が大きく、前提条件の設定が困難
- ・投資回収時期・収益化タイミングが流動的
- ・事業規模の拡大スピードが外部環境に依存

以上を踏まえ、現時点で業績予想を開示することは、かえって投資家の判断を誤らせる可能性があるかと判断し、開示を見送っております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当連結会計年度において、営業損失4億62百万円及び経常損失4億82百万円、親会社株主に帰属する当期純損失5億37百万円を計上する結果となりました。当社グループの業績は、当連結会計年度まで8期連続で営業損失、経常損失を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しているものと認識しておりますが、以下の対応策を実施していることから、現時点において継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

具体的には、当社グループは、新規事業への取り組みを開始するとともに、既存事業における収益性の改善施策を推進しており、連結営業利益の改善を見込んでおります。また、新株予約権の行使により調達した資金に加え、手元資金を含めた資金繰り計画において、当面の運転資金および投資資金を十分に確保しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループの利害関係者には、国内外の株主、債権者、取引先等を含んでおりますが、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	474,747	3,015,005
受取手形	22,937	16,970
売掛金	376,591	324,069
電子記録債権	107,644	77,202
商品及び製品	937,763	949,059
原材料及び貯蔵品	43,002	37,701
短期貸付金	1,110,000	-
その他	50,770	39,526
貸倒引当金	△10,935	△8,741
流動資産合計	3,112,522	4,450,795
固定資産		
有形固定資産		
建物	76,415	76,156
減価償却累計額	△61,062	△63,096
建物(純額)	15,353	13,060
工具、器具及び備品	45,557	33,088
減価償却累計額	△27,189	△30,686
工具、器具及び備品(純額)	18,368	2,402
土地	75,141	66,241
その他	13,705	13,705
減価償却累計額	△5,460	△13,705
その他(純額)	8,244	0
有形固定資産合計	117,107	81,704
無形固定資産		
その他	-	425
無形固定資産合計	-	425
投資その他の資産		
投資有価証券	51,318	56,031
その他	133,528	128,534
貸倒引当金	△84,311	△79,404
投資その他の資産合計	100,535	105,162
固定資産合計	217,642	187,291
資産合計	3,330,164	4,638,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,779	203,086
電子記録債務	210,055	219,639
未払法人税等	8,126	38,829
その他	128,344	147,185
流動負債合計	627,305	608,740
固定負債		
繰延税金負債	4,574	5,326
資産除去債務	9,899	9,958
その他	12,993	12,993
固定負債合計	27,467	28,279
負債合計	654,773	637,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	1,027,334
資本剰余金	3,236,690	4,164,025
利益剰余金	△359,519	△896,776
自己株式	△389,580	△389,703
株主資本合計	2,587,590	3,904,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,650	11,572
為替換算調整勘定	79,150	82,922
その他の包括利益累計額合計	87,800	94,494
新株予約権	-	1,693
純資産合計	2,675,391	4,001,067
負債純資産合計	3,330,164	4,638,087

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,098,781	2,959,059
売上原価	2,089,072	1,966,815
売上総利益	1,009,708	992,244
販売費及び一般管理費		
販売手数料	350,941	402,589
賃借料	112,517	109,110
運賃及び荷造費	110,120	107,028
販売促進費	47,069	61,310
貸倒引当金繰入額	971	△234
役員報酬	16,900	27,642
給料及び手当	404,339	364,040
福利厚生費	102,900	92,028
旅費及び交通費	50,566	58,356
減価償却費	9,833	9,041
その他	158,719	223,345
販売費及び一般管理費合計	1,364,880	1,454,260
営業損失 (△)	△355,172	△462,015
営業外収益		
受取利息	61,636	56,309
受取配当金	1,547	1,699
為替差益	-	4,140
助成金収入	-	11,295
その他	4,661	857
営業外収益合計	67,846	74,302
営業外費用		
支払利息	151	164
株主優待関連費用	5,500	4,873
為替差損	6,883	-
支払手数料	-	41,789
新株予約権発行費	-	44,389
その他	782	3,575
営業外費用合計	13,318	94,792
経常損失 (△)	△300,644	△482,505

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別損失		
貸倒引当金繰入額	57,197	-
構造改革費用	40,011	-
減損損失	-	42,059
その他	-	5,702
特別損失合計	97,209	47,762
税金等調整前当期純損失 (△)	△397,853	△530,267
法人税、住民税及び事業税	9,466	6,989
法人税等合計	9,466	6,989
当期純損失 (△)	△407,319	△537,257
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△407,319	△537,257

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純損失(△)	△407,319	△537,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,978	2,921
為替換算調整勘定	21,711	3,771
その他の包括利益合計	19,733	6,693
包括利益	△387,586	△530,563
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△387,586	△530,563

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,236,690	47,800	△389,576	2,994,914
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					
親会社株主に帰属する当期純 損失 (△)			△407,319		△407,319
自己株式の取得				△4	△4
新株予約権の発行					
株主資本以外の項目の当期変 動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	△407,319	△4	△407,323
当期末残高	100,000	3,236,690	△359,519	△389,580	2,587,590

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	10,628	57,438	68,067	-	3,062,982
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)				-	-
親会社株主に帰属する当期純 損失 (△)					△407,319
自己株式の取得					△4
新株予約権の発行				-	-
株主資本以外の項目の当期変 動額 (純額)	△1,978	21,711	19,733		19,733
当期変動額合計	△1,978	21,711	19,733	-	△387,590
当期末残高	8,650	79,150	87,800	-	2,675,391

当連結会計年度 (自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,236,690	△359,519	△389,580	2,587,590
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	927,334	927,334			1,854,669
親会社株主に帰属する当期純 損失 (△)			△537,257		△537,257
自己株式の取得				△123	△123
新株予約権の発行					
株主資本以外の項目の当期変 動額 (純額)					
当期変動額合計	927,334	927,334	△537,257	△123	1,317,288
当期末残高	1,027,334	4,164,025	△896,776	△389,703	3,904,879

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,650	79,150	87,800	-	2,675,391
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)				△2,380	1,852,288
親会社株主に帰属する当期純 損失 (△)					△537,257
自己株式の取得					△123
新株予約権の発行				4,074	4,074
株主資本以外の項目の当期変 動額 (純額)	2,921	3,771	6,693		6,693
当期変動額合計	2,921	3,771	6,693	1,693	1,325,675
当期末残高	11,572	82,922	94,494	1,693	4,001,067

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△397,853	△530,267
減価償却費	9,833	9,074
為替差損益 (△は益)	6,010	△4,534
減損損失	-	42,059
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	60,276	△7,101
受取利息及び受取配当金	△63,184	△57,926
支払利息	151	48
売上債権の増減額 (△は増加)	222,848	89,069
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△117,330	△2,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	△65,379	△69,157
未払又は未収消費税等の増減額	△19,136	2,076
その他	△20,961	63,306
小計	△384,724	△466,023
利息及び配当金の受取額	62,897	58,213
利息の支払額	△151	△48
法人税等の支払額	△8,411	△6,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	△330,390	△414,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,930	△6,530
無形固定資産の取得による支出	-	△531
長期前払費用の取得による支出	-	△9,064
投資有価証券の取得による支出	△1,003	△1,039
敷金及び保証金の差入による支出	△817	△2,958
敷金及び保証金の回収による収入	10,068	3,060
貸付けによる支出	△4,140,000	△750,000
貸付金の回収による収入	4,530,000	1,860,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	379,316	1,092,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の発行による収入	-	4,074
株式の発行による収入	-	1,852,288
自己株式の取得による支出	△4	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4	1,856,239
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,553	5,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	54,476	2,540,258
現金及び現金同等物の期首残高	420,270	474,747
現金及び現金同等物の期末残高	474,747	3,015,005

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱商品別に事業部を置き、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは事業部を基礎とした取扱商品別のセグメントから構成された「きもの事業」「ライフスタイル事業」「ファッション事業」「マテリアル事業」の4つを報告セグメントとしております。

「きもの事業」は、和装品、和装小物品、宝飾品等を卸売しております。

「ライフスタイル事業」は、マットレスを中心としたヘルスケア商品を卸売しております。

「ファッション事業」は、布帛・ニットを中心とした婦人服、子供服、ホームファッション等の卸売、百貨店等での婦人服販売、ニット製品の企画・販売及びD2C事業をしております。

「マテリアル事業」は、ファンシーヤーン（意匠燃糸）の企画開発、製造卸売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2) (注3)	連結財務諸 表計上額 (注4)
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	629,092	43,962	1,485,660	929,161	3,087,876	10,905	3,098,781	-	3,098,781
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	629,092	43,962	1,485,660	929,161	3,087,876	10,905	3,098,781	-	3,098,781
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△96,168	△7,203	△30,622	△53,138	△187,132	8,844	△178,287	△176,884	△355,172
セグメント資産	549,166	12,070	513,618	621,289	1,696,144	96,025	1,792,170	1,537,994	3,330,164
その他の項目									
減価償却費	-	-	3,892	641	4,533	1,370	5,904	3,929	9,833
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	-	-	6,380	-	6,380	12,550	18,930	1,419	20,349

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△176,884千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
3. セグメント資産の調整額1,537,994千円には、セグメント間債権の相殺消去△89,695千円、各報告セグメン
トに配分していない本社資産1,627,689円が含まれております。
4. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2) (注3)	連結財務諸 表計上額 (注4)
	きもの事業	ライフスタイル事業	ファッション事業	マテリアル事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	642,744	36,439	1,441,131	827,829	2,948,144	10,915	2,959,059	-	2,959,059
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	642,744	36,439	1,441,131	827,829	2,948,144	10,915	2,959,059	-	2,959,059
セグメント利益又はセグメント 損失 (△)	△119,508	△9,603	2,590	△23,213	△149,735	8,400	△141,334	△320,681	△462,015
セグメント資産	577,102	10,254	425,840	520,709	1,533,906	85,302	1,619,208	3,018,878	4,638,087
その他の項目									
減価償却費	944	-	2,650	442	4,037	1,824	5,861	3,180	9,041
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	566	-	5,964	531	7,061	-	7,061	-	7,061

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△320,681千円は、各報告セグメントに配分していない
全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。
3. セグメント資産の調整額3,018,878千円には、セグメント間債権の相殺消去△40,601千円、各報告セグメン
トに配分していない本社資産3,059,480円が含まれております。
4. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
2,674,621	424,160	3,098,781

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	中国	合計
2,560,658	398,400	2,959,059

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客に関する情報は、単一の外部顧客への売上高が、連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：千円)

	きもの事業	寝装事業	洋装事業	マテリアル 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	8,686	-	14,595	-	-	18,777	42,059

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	47円57銭	62円05銭
1株当たり当期純損失(△)	△7円24銭	△9円26銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△407,319	△537,257
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△407,319	△537,257
期中平均株式数(株)	56,244,405	58,041,596

(重要な後発事象)

該当事項はありません。